

## 事業報告書 (平成30年度)

事業名 未来に生かす里山再生事業 ～南海トラフ地震への対策をめざして～

団体名 就実・森の学校 担当者名 石田省三

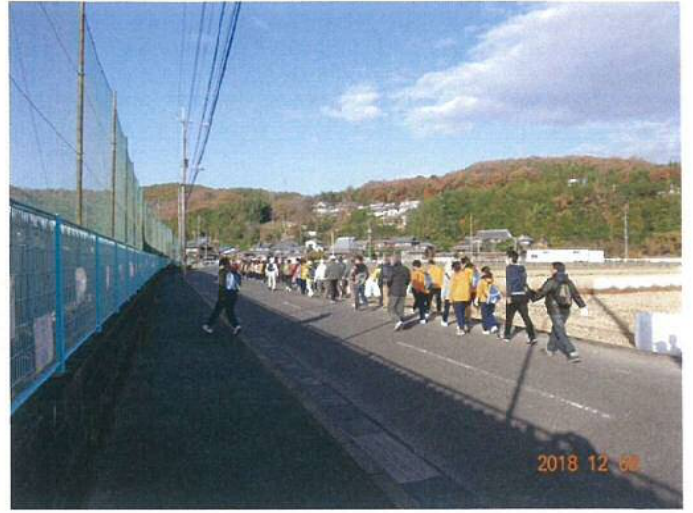
※活動の様子がわかる写真(データもお願いします)と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容(日時、場所、参加対象者、人数、内容等)	
未来に生かす里山再生事業として、年間20回事業を実施した。主な事業を以下に示す。	
・4月 春の訪れコンサート・コンサートを通して里山の良さを体感	参加 450名
・5月 操山ウオーク in 就実森の学校・中学生の里山体験	参加 60名
その他高校吹奏楽部、その他3団体が自然体験に来校	参加 150名
・6月 幼稚園の来校が相次ぐ	参加 200名
・8月 4、5日の2日間サマーフェスティバルを開催	参加 150名
その他竹細工ワークショップを開催 3回	参加 50名
・9月 16、17の2日間 キッズタウン就実を開催	参加 250名
・10月 第1回里山レンジャー開催 里山の自然を守るグループの結成	参加 15名
第1回グリーンボランティア アカマツ林の植林地育成活動	参加 10名
・11月 4日TSC街はなフェア出店	
11日第2回里山レンジャー開催 「古墳博士になろう」	参加 15名
・12月 2日森林資源調査(福井ゼミ)	参加 20名
8日 ジュニア防災訓練 富山中、富山学区有志	参加 150名
16日第2回グリーンボランティア アカマツ林の植林地育成活動	参加 45名
・2月 11日第3回グリーンボランティア アカマツ林の植林地育成活動	参加 10名
また里山再生事業としては、竹林の整備とアカマツ林の維持管理を通年で実施している	
27年度から始めた南海トラフ地震対策事業として、今年度は以下の項目を実施した。	
① 住民の防災意識調査・・・富山学区全世帯5,438名、回収率25.1%	
アンケート結果は添付資料を参照	
「岡山市民の防災意識に関する研究～就実の森周辺住民へのアンケート調査から～」	
② 避難経路の整備・・・年間で10回程度の整備保守	
③ 避難地図の作成および配布	
④ 防災訓練の実施・・・5月から3回の準備委員会を重ね12月8日に実施。	
ジュニア防災訓練 富山中、富山学区有志参加 150名	
実施内容及び感想は添付資料参照	

<p>2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ</p>
<p>住民同士の結びつきを深め、安全で住みやすい街を作ることが、地域社会を持続させていくために求められている。本事業は時代の変化に対応出来ず、忘れられようとしている里山を再生し、現代に生かす方法を模索するものである。</p> <p>一つの試みは里山に人を集めるためのコンサートの開催である。音楽の魅力にひかれて集まった人々が山の良さにふれ、自然を守るための活動のきっかけになればと願っている。</p> <p>もう一つの活動の中心が防災である。東日本大震災後、南海トラフ地震とそれに伴う災害の大きさが声高に叫ばれるようになってきている。しかし岡山県南の人々の防災意識は極めて低い事がアンケート調査からわかった。今年初めて大規模な防災訓練を実施したが、町内会から今後は定期的の実施しようとの声が上がっている。私達の活動が、地域に貢献することが出来つつあるのかと思うと今後の励みになる。</p>
<p>3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）</p>
<p>今年初めて本格的な防災訓練を実施した。対象は富山中学校生徒と富山学区有志、就実大学有志で、役員を含め総勢200名ほどで実施した。アンケートでは年少者ほど防災意識が低いと出ていたが、訓練が始まると徐々に動きが良くなっていった。中学生の中からは「参加して良かった。災害とか防災とか教室で話を聞いても実感が湧かなかったが、今日のように実際に歩いておくといざというときに役立つと思う」などの声も聞かれ、今回の訓練の効果が少しでもあったものと考え、今後とも継続的に実施していこうと考えている。</p>
<p>4. 今後の課題と展望</p>
<p>ESDの実践にとって最も大切なことは継続と広がりである。本活動を始めて今年で10年になるが、継続という面から考えると、構成員、及び学生や生徒に常に新しい取り組みを提供し興味や関心を持続させていくことが求められる。</p> <p>また活動の広がりをすすめていくためには隣接する地域や、同様の活動をしている団体と連携を深めより活発な活動を展開していきたいと考えている。</p> <p>このような活動を通し、次世代の人々が里山に目を向け、現代的な里山づくりをたのしんでいこうとする土壌が培われていくことを期待する。</p>



集合：富山中学校



就実・森の学校をめざして



恵風苑前を通過



要介護者の訓練



避難地：就実・森の学校



竹炭の焼成体験」



準備が出来て



着火作業



焼成中



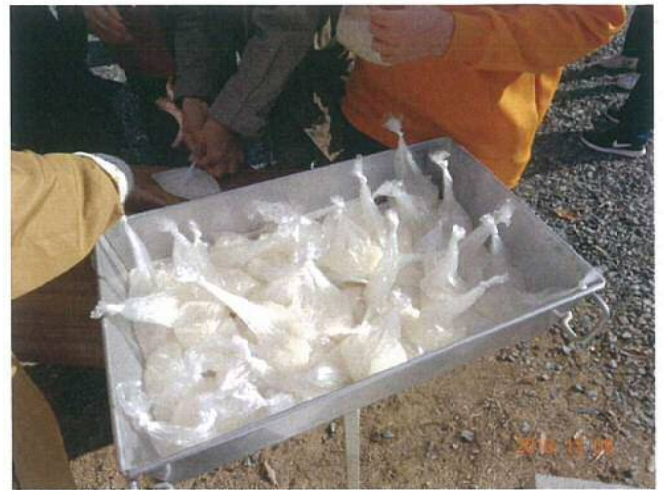
竹とブルーシートで



簡易住居づくり



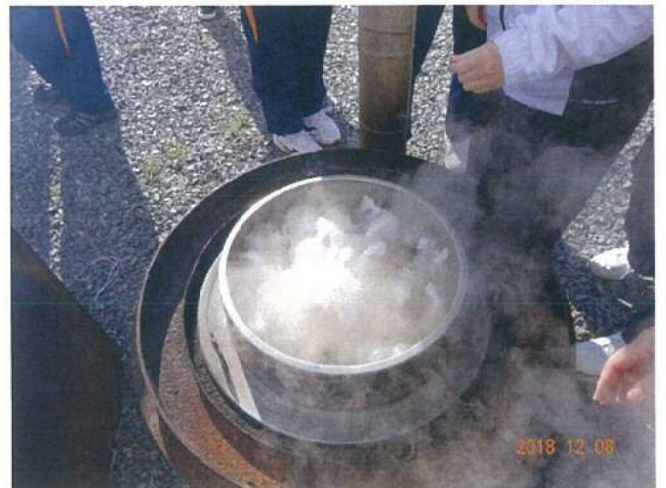
炊飯体験



猫袋による



ガス・電気がないので薪で



炊飯中



昼食はキーマカレー



さあ！どうぞ